



来場者と作品を見る高木さん

## 書道に親しむ、書道のまちへ

高木聖鶴書展・高木聖鶴児童生徒競書大会  
総社吉備路文化館のリニューアルオープンを記念し、昨年11月に文化勲章を受章した書家の高木聖鶴さんの書展を、4月20日から5月18日まで開催。市と総社市文化振興財団が所蔵する作品の中の36点を一度に見ることができるチャンスとあって、多くの人が訪れ、かな書の優美さに見入っていました。

また、功績を顕彰し、高木聖鶴児童生徒競書大会が5月11日、常盤小学校体育館で行われました。市内の小・中学校の児童生徒約200人が、「温羅の伝説」(中学3年)や「れんげ」(小学2年)など、学年ごとに与えられた課題に挑戦。ピンと張りつめた空気の中、集中して筆を走らせていました。同大会は来年以降も続けていく予定です。



懸命に課題の書を書く児童



熱気あふれる競書大会

## 地域の声を取り入れた新たな拠点

### 総社中学校新校舎完成

耐震化のため建て替えを行い、3月に完成した総社中学校の新校舎が、5月13日に地域住民らにお披露目されました。

新校舎には、生徒だけでなく地域住民も利用できる多目的ホールを整備。また、地域の防災拠点となるための機能として、備蓄倉庫や非常用給水タンクかまどベンチなどが備えられています。

これらの設備は、地域の住民などで組織された、総社中学校校舎改築施設検討委員会の意見を取り入れて整備されたものです。



5月13日に行われた総社中学校新校舎完成記念式典。多目的ホールでくらしき作陽大学の学生によるコンサートが行われた

## ミニフォト

### 新採用職員が自衛隊研修へ



整列をする新採用職員

今年4月採用の職員11人が、5月7日から9日まで、勝田郡奈義町の陸上自衛隊日本原駐屯地で自衛隊研修を行いました。参加した職員は集団行動など、さまざまな訓練を経験し、強い団結心と規律心を養いました。

### 本の良さを知ってほしい



夢中になってお話を聞く子ども

こどもの読書週間に合わせ、としょかんまつりが5月10日、図書館で開かれました。大型絵芝居やエプロンシアター、人形劇などが催され、訪れた子どもたちは、絵本やお話の世界に引き込まれていました。

### 自然を肌で感じる



水中をのぞき込む子ども

自然観察会「水辺の生きもの」が5月10日、鬼城山ビジターセンター周辺で行われました。小学生以下の子どもの保護者が参加。子どもたちはアメンボやおたまじゃくしなどを間近で見、自然を満喫していました。

### メーデーを楽しむ



バルーンアートのステージ

吉備路ふれあいメーデーが4月27日、カミガツジプラザで開かれました。市内の約20の労働組合による出店やコンサート、バルーンアート、抽選会などが行われ、会場は訪れた多くの親子連れらでにぎわっていました。

### 健やかな成長を願って



一生懸命ロープを引っ張る

子どもたちの健やかな成長を願い、見延子供育成会が4月20日、岡山自動車道の見延橋にこのぼりをあげました。児童や保護者ら約50人でロープを引っ張ると、色鮮やかなこのぼり25匹が高く舞い上がりました。

### 音楽の力で感動を届ける



息の合った演奏

総社吹奏楽団の演奏会が4月20日、市民会館で開催されました。団員約50人が、第三組曲やミュージカル「レ・ミゼラブル」など8曲を披露。訪れた約650人の聴衆は、軽快なリズムや美しい音色を楽しんでいました。



レンゲ摘みを楽しむ子ども (5/3)



吉備路れんげまつりのステージ (5/3)

## カメラ フォトニュース まちの話題



吉備再発見写真大会で井山宝福寺の雪舟とネズミを描く子ども (5/3)



市消防署伝統の味「そうじゃ消防署カレー」を販売 (5/3)



備中国分寺五重塔の初層を案内する吉備路ボランティア観光ガイド (5/3)

## 春の陽気漂う吉備路を満喫

「吉備路れんげウィーク」と銘打ち、4月26日から5月6日までの11日間、市の花れんげが咲く備中国分寺周辺でさまざまなイベントが開催され、多くの人が春の吉備路を堪能しました。

5月3日に行われた吉備路れんげまつりでは、ス

ステージや、お茶席、そうじゃ消防署カレーの販売などが行われ、多くの家族連れらでにぎわいました。また、ライトアップされた五重塔前では、和太鼓の演奏や獅子舞、備中神楽の舞が繰り広げられ、訪れた人を幻想的な雰囲気ですてしていました。

### 吉備路れんげウィーク